

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

年 目	担当 部	中期経営目標	重 点	分 類	短期経営目標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価（10月1日）			最終評価（2月末）					
								□指標に係る 取組状況	プロセス 評価	達成 評価	改善方策	□指標に係る 取組状況 ◎短期（中期）経営 目標の達成状況	プロセス 評価	達成 評価	総合 評価	改善方策
1	【 教 務 ・ 研 究 部 】	・自身の学び を実感し、主 体的に課題に 取り組む児童 の育成	見 直 し		主体的な学びにつながる授業づくりを通して、児童が学びに向かう力を高める。	・算数科の学力向上を図るために、講師を招聘した研修や教員相互の研究協議会を通じて、教材研究及び授業改善を図る。 ・「学びプランシート」を作成し、児童の意識調査の変容から、具体策を検討していく。	①全国学力・学習状況調査及び市標準学力調査において、全国平均比105%以上 ②【児童アンケート】「主体的・対話的で深い学び」に関する項目の平均肯定的評価80%以上 ③「学びプランシート」結果を考察し、前後期1回ずつ改善策を提案する。									
1	【 健 康 安 全 ・ 生 徒 指 導 部 】	・自己調整 能力と健や かな体づく りの推進	○ 新規		電子メディアを使用する時間を自己決定し、家庭と連携して生活を振り返ることを通して、自分の時間を主体的にコントロールできる力を育てる。	・「メディアアコントロール挑戦カード」に「メディア使用時間」「毎週末の振り返り」「保護者からのコメント」の欄を作ることで、児童が主体的にメディア使用時間をコントロールできるようにする。 ・学期ごとにメディアアコントロール期間を設定する。 ・「生活習慣の七つの目標」の啓発を行う。 ・懇談や通信で、担任が各家庭の取組の工夫を紹介し、良い取組を共有できるようにする。	①【児童アンケート】「自分の設定したメディア使用時間を守ることができている（最大値：平日2時間以内）」肯定的評価75%以上									
1	【 総 務 部 】	ふるさと芦 田に愛着と 誇りをもつ 児童の育成	見 直 し		地域とともにある学校づくりを行ふ。	・毎時間「走」の運動に係る準備運動を行い、走力の向上を継続的に行ふ。 ・毎学期50m走の記録を計り、児童自身が体力の向上を数値で確かめることができるようにする。 ・委員会や児童会が提案する児童主体の遊びや運動を促進する取組を行う。 ・保健だより等の通信を通して、日常の運動機会の大切さについて保護者への啓発を行う。	①体力・運動能力調査「50m走」男女ともに全国平均以上 ②前学期より50m走の記録がよくなった児童の割合 80%以上 ③【児童アンケート】「運動（遊びを含む）やスポーツをすることが好き」肯定的評価85%以上 ④「体育の授業が楽しい」肯定的評価80%以上									

[プロセス評価の評価基準]

評点	評価基準	評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。	5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。	4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。	3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかつた。	2	目標を下回り、成果よりも課題が多くつた。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかつた。	1	目標を大きく下回り、成果が認められなかつた。

[達成評価の評価基準]

評点	評価基準
5	100%以上の達成度
4	80%以上100%未満の達成度
3	60%以上80%未満の達成度
2	40%以上60%未満の達成度
1	40%未満の達成度

福山市立

福相小

学校